

しらくわみやこしいせき
白鍬宮腰遺跡の調査 ————— 〈桜区〉

桜区大字白鍬に所在する遺跡で、JR南与野駅の西2km程に位置し、鴨川の左岸にあります。今年度は第8次から第10次までの3度の調査を行いました。

第8次調査と第10次調査は個人住宅建設に伴い、さいたま市教育委員会が5月と10月から11月にかけて調査を実施しました。第8次調査では古墳時代前期の住居跡1軒と古墳の周堀を1基、第10次調査では古墳の周堀1基などを検出しました。

第9次調査は分譲住宅建設に伴い、さいたま市遺跡調査会が1月から2月にかけて調査を実施し、古墳の周堀1基などを検出しました。

これら3度の調査全てで新たな周堀が見つかっており、この遺跡を含め鴨川左岸にはまだまだ古墳の跡が多く遺されているようです。

たては いせき
立葉遺跡の調査 ————— 〈浦和区〉

浦和区木崎4丁目に所在する遺跡で、JR与野駅の東2km程のところに位置し、見沼の低地に面した台地上にあります。

今回の調査は宅地造成に伴い、さいたま市遺跡調査会が7月から9月にかけて実施しました。

調査の結果、縄文時代前期の住居跡1軒、弥生時代後期から古墳時代前期の住居跡18軒などを検出しました。半数の住居跡は火災に遭っていました。

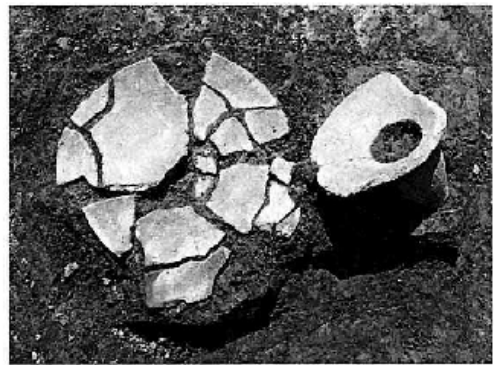
べっしょいせき
別所遺跡の調査 ————— 〈南区〉

南区別所2丁目に所在する遺跡で、JR武蔵浦和駅の北500m程のところにあります。今年度は第6次から第8次までの3度の調査が行われました。

第6次調査は浦和別所小学校の校舎建て替えに伴い、さいたま市遺跡調査会が7月から11月にかけて実施しました。縄文時代中期の住居跡22軒、弥生時代後期から古墳時代前期の住居跡15軒、古墳時代中期の住居跡2軒、平安時代の住居跡1軒などを検出しました。過去の調査も含め弥生時代から古墳時代にかけて大きな集落の存在が分かってきました。

また、8月20日には浦和別所小学校5・6年生の希望者を対象に発掘体験見学会を実施しました。この日は40名の保護者の皆様が見守る中、教育長や校長先生と一緒に108名の児童が参加して、住居跡の調査と出土した土器の洗浄を体験し、校舎の下から出土した文化財に触れ、郷土の歴史を身近に感じてもらいました。

第7次調査は個人住宅建設に伴い、さいたま市教育委員会が12月に実施し、古墳時代前期の住居跡1軒などを検出しました。第8次調査は造成に伴い、さいたま市遺跡調査会が1月から2月にかけて実施し、中世の溝を検出しました。



▲土器の出土（白鍬宮腰遺跡）



▲調査区全景（立葉遺跡）



▲土器の出土（別所遺跡）



▲8月20日、発掘体験見学会（別所遺跡）